

PCSA アクションレポート（不正対策研究部会）

平成 31 年 1 月版

第 151 回 PCSA 不正対策研究部会・第 46 回不正対策勉強会

開催日時 平成 31 年 1 月 25 日（金） 午後 1 時～午後 5 時

開催場所 PCSA 会議室

出席人数 講師 1 名、部員 10 名、正会員オブザーバー 2 名、賛助会員オブザーバー 1 名、
日遊協参加者 6 名、メーカー参加者 1 名、合計 21 名

出席者 <講師>

高石 隆一 様 有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役社長

<リーダー>

松本 浩 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム アシスタントマネジャー

<サブリーダー>

倉沢 隆志 株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当

<正部員>

金子 敦 株式会社ダイナム 法務リスク管理部 リスク管理担当

松尾 武 夢コーポレーション株式会社 運営推進部 業務システム構築グループ マネジャー

梅野 唯行 株式会社合田観光商事 業務推進部 セキュリティ課 課長

上野 誠 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム

春原 正愛 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 監査室 課長

柏 信吾 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 主任

徳永 正宣 株式会社チアエンタープライズ 総務部 法務課長

山本 譲 株式会社三永 営業部 業務推進課 係長

<正会員オブザーバー>

美齊津 孝幸 株式会社アメニティーズ 監査室 主任

榎本 哲也 株式会社パンドラ(アメニティーズ) 監査室 主任

<賛助会員オブザーバー>

前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長

<日遊協 参加者>

株式会社マルハン 3 名、株式会社アプリィ 3 名

<メーカー 参加者>

大庭 義樹 様 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 開発本部 商品グループ セキュリティ対策部 部長

第 151 回不正対策研究部会

1) 最新ゴト情報・ゴト被害アンケート(12 月)について

アンケート回答 8 社。磁石、糸付き玉、持ち出し持ち込み、油玉ゴトなどで、被害件数 14 件、被害額

¥148,309-、警察への通報回数 1 件、被害届申請 0 件、被害届受理 0 件となっている。

各不正の詳細を説明した後、油玉ゴトの発覚と対応事例、持ち込み持ち出しの事例などについて説明がなされた。他に、直近の話題として、ゼロボーナス状態に陥った遊技機への対応方法、寒冷地での灯油窃盗、ホールでの火事事例などの情報が共有された。

2) 入れ墨 (Tattoo) のお客様対応方法について

入れ墨 (Tattoo) を入れているお客様への対応方法について情報を共有した。遊技約款、又は類似のポスターなどに入店お断りの掲示があるかどうかで対応が変わる事や、個別の入れ墨の具合によって判断を変えると、後々整合性がとれなくなる恐れがある事、また具体的な対応方法の事例について情報を共有した。

3) 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 情報共有

不正サブ基板に関する新たな事例発覚について情報が共有された。関西方面で中古遊技台から発見されたという事で検査方法などが再度周知された。また、同社遊技機のセクター部品の設定に関するアンケートを依頼され、後日その回答を事務局でまとめて同社御担当者にお送りした。

4) 次回開催

平成 31 年 2 月 15 日 (金)

午後 1 時～午後 3 時

PCSA 会議室

以上

第 46 回不正対策勉強会

<タイトル>

「最新のゴト情報について ～巧妙かつ悪質化する不正を撃退せよ～」

<講師>

有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役 高石 隆一 様

<内容>

2018 年 業界の動き

- 2 / 1 改正施行規則の施工
- 7 / 6 依存症対策基本法案の成立
- 7 / 18 改正健康増進法が成立
- 7 / 20 IR 実施法案の成立
- 11 / 14 高射幸性機の 15%制限 自主規制を延期

2018 年のゴト被害発生状況

- ・数年前と比較してローテクゴトが増加している。
- ・店舗の責任者の対応が重要になってくる。
- ・6 号機にも通用する不正が拡大中。
- ・メダルの持ち出し、持ち込みも発生中。
- ・ゴッドイーターでぶら下がり発生。

2017 年と 2018 年との比較

- ・どつき、磁石、釘曲げ、などが増加。
- ・パチンコはローテク事が主流。
- ・スロットは業界動向を意識した旧基準機への駆け込み不正が増加。

<ドツキゴト>

- ・2018 年の被害件数 No1
- ・被害多発の遊技機 D、お客からは「面白い台」と好評
- ・どつきは、特有の挙動がある。
- ・すぐにできる対策方法
「ドツキゴト警戒中！」の POP を該当機設置周辺に掲示。店舗の電話番号は必須。
- ・対応方法 ハウスルールや遊技約款で「どつき行為をされている場合は、遊技をお断りしている」と掲示必須。
絵柄タイプのハウスルールを掲示している店舗は、「どつき」に関する記述がきちんとされているか要確認。1～2 回のドツキでは退店よりは、3 回でアウトとすべきだと弁護士のアドバイス。しかし、2 度目の注意で交換して退店するゴト師がいる。また、悪質グループとして、顔写真が出回っていれば警察通報時にその旨伝える事。
- ・対応時には、注意したらごねる、関西弁、見た目がやんちゃなどがある。
- ・注意されると「釘がおかしい、通報するぞ」とごねるなど。
- ・ゴト師の話には絶対にのつたら駄目。
- ・ドツキゴトはゴト器具がいらず、一般の遊技者も安易に手を染めてしまいがちなゴト。

<不正払い出しを狙ったゴト>

- ・メーカー S 系不正リール基板。
- ・メーカー U 系不正キャビ中継基板。
- ・メーカー D 系不正基板。
- ・これらは、払い出し枚数を増加させる不正内容。本来はベルで 10 枚から 15 枚に不正に払い出すゴト。
- ・外部端子情報板に上がる情報も「加工されている情報」があがるので誤差は発生しない。
- ・仕掛けられた台は、高ベースで激アマ台になっている。
- ・ゴト師は抜きすぎないようにちょっとずつ抜いている。
- ・今後、6 号機にも使用される可能性が高いゴト。主流になりかねない。
- ・ほとんどが中古台からの購入なのでそのタイミングできちんと点検すべき。
- ・点検方法はメーカーで公開している。
- ・売上等のデータを日々確認。
- ・チェーン店内での遊技台移動にも注意。

<駆け込み犯行に注意！>

- ・セルゴト 遊技機 M、遊技機 B。
- ・高射幸性遊技機、新基準に該当しないスロットの設置比率目標、15%の期日延期によってゴトの対象機種が設置継続される可能性が高くなった。
- ・セルゴトを実施する前に、強制的にセクターエラーを起こして不正対策部品の有無を確認している。
- ・電磁波ゴト 遊技機 K、遊技機 V。
- ・電磁波センサーを導入している店舗は、繰り返しの撤去、再設置、増台で取り付け忘れていないか、要確認。
- ・4～5 年前の電磁波ゴトのピーク時を体験した従業員が店舗に在籍しているか。

<遊技機 K どつき&油玉ゴトに警戒を>

- ・面白い台だとお客の評判。
- ・甘く、傾斜が重要な台。
- ・ドツキゴトでは、ハンドルを引っ張って傾斜を寝かせる。
- ・どつきで約物入賞を狙う。
- ・油玉ゴトは盤面が油でべとべとになり、役物入賞率が 3 倍。
- ・油以外にも水やジュースなどの情報もあり。
- ・釘曲げや磁石など他のローテク事の発生にも注意。
- ・データチェックで確認。

<悪質な窃盗犯に注意！>

- ・IC カードやカバン（ホール内でのひったくり）、財布など。
- ・グループでの犯行、理由は相手の注意をそらす役がいた方がやりやすい。
- ・置引、ひったくり、全て窃盗罪。
- ・状況によっては、ホール従業員が巻き込まれて被害をこうむるケースがある。
- ・ある事例では、ひったくりの被害届を被害者は出さず。しかし、ホールは女性従業員の負傷で被害届を提出。
- ・事後強盗（逃げる際に暴行する）は、強盗と同じ。被害届は不要。非親告罪。
- ・従業員がけがをしないように無理をしない方が良いかもしれない。
- ・対応策としては、注意喚起 POP、店内アナウンス、基本的な声かけを実施すべき。
- ・声かけでは少しオーバー気味に「ここに財布を置いておいて盗まれた人がいるので気を付けてください」と事例をあげて、提案すべき。
- ・ビブス着用による巡回強化なども実施している店舗がある。
- ・見慣れない人物が、通常のお客様とは異なる、目線、歩行速度に注意。そして声かけを。

<最近の業界（行政・組合）の動き>

- ・昨年 11 月、愛知県での 60 日の営業停止が 3 店舗。
- ・昨年 12 月、山梨県の組合文書。新台入れ替え予定の「予定」の文言がないチラシが散見される。警察の許可なく決定事項にしてはいけない。
- ・店内告知や HP で大当たり 1 回分の獲得玉数の上限の掲載が散見される。これは駄目だという事。
- ・旭川方面組合、広告宣伝自主規制。
- ・雑誌取材、ライター取材等のイベントの開催について全面禁止という規制。
- ・九州、ホールに P-WORLD 記載なしのゴッド凱旋が実際に設置してある。おかしいと通報。調査の結果、設置してはいけない機種だった。
- ・遊技機 S で 1200 ゲームを越えた。原因はゼロボ。
- ・純増枚数 0 枚の特殊ボーナス。元々の仕様。
- ・お客とのトラブルの元。
- ・掲示内容にも注意すべき。
- ・他の 6 号機にも同様の現象が発生する。
- ・他遊技機にて、保留玉変化演出でレインボー保留が紫保留に格下げされ外れた動画が拡散され騒ぎに。
- ・ホールスタッフに事例を共有、対応をきちんと説明する。POP 内容も確認。

以上